

# 医療法人愛生会 総合上飯田第一病院

## 臨床研修医プログラム

### 目 次

医療法人愛生会 総合上飯田第一病院臨床研修プログラム概要

医療法人愛生会 総合上飯田第一病院の概要

プログラム指導者

臨床研修評価表

指導体制・指導医に対する評価表

臨床研修における行動目標

一臨床研修における経験目標

経験が求められる疾患と病態

臨床研修必修科カリキュラム

○全科共通目標

○内科(内分泌代謝系、血液系、消化器系、神経系、循環器系、呼吸器系、腎臓系)

○外科

○麻酔科

○救急外来科

○小児科

○産婦人科

○精神科(楠メンタルホスピタル)

○地域保健(老人保健施設、名古屋市保健所)

○地域医療(おがわ内科クリニック)

臨床研修選択科カリキュラム

○整形外科

○眼科

○耳鼻咽喉科

週間日程表 (内科・外科・麻酔科・小児科・産婦人科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・精神科)

# 医療法人愛生会 総合上飯田第一病院臨床研修プログラム概要

## 1. 名称

医療法人愛生会 総合上飯田第一病院臨床研修プログラム(以下プログラムと略す)

## 2. プログラムの目的と特徴

本プログラムは社会の多様な医療ニーズに対応できる、全人的な医療を目指し、適切な指導体制の下で、効果的にプライマリ・ケアを中心に幅広く医師としての必要な診療能力を身につけ、医師としての素養を磨くことを目的とする。

本プログラムの臨床研修目標は以下のとおりである。

◎すべての領域で求められるプライマリ・ケアの基本的な対応能力を身につける。

◎各科における基本的な診断、検査、治療についての知識と技術を身につける。

◎医師と患者および家族との間での十分なコミュニケーションの下に総合的な診療を行う姿勢を身につける。

◎チーム医療における他の医師および医療メンバーと協調する習慣を身につける。

本プログラムの特徴は

- (1) 2年間の初期研修プログラムで、専門医教育を将来受ける前段階において必要な臨床教育を実施すること。
- (2) 必修科(内科、外科、救急外来科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科及び地域保健・医療)を中心に、研修医の将来の進路にあわせて幅広いローテート研修を行うこと。
- (3) 臨床研修を受けるにあたっての研修入門を行うこと。

## 3. プログラムの管理・運営のための組織と責任者

プログラムの管理・研修計画の実施・研修医及び指導医の評価のすべては、医療法人愛生会 総合上飯田第一病院研修管理委員会(責任者:委員長)(以下、委員会と略す)が責任を持って行う。

委員会の構成員は当院の臨床研修プログラム責任者を中心に、研修協力病院および研修

協力施設の指導医、当院事務長、看護部長、薬局長をあてる。なお構成員名簿は別掲する。

## 4. 定員、募集方法および選考方法

- (1) 定員 : 2名(1年次、2年次あわせて4名)
- (2) 募集方法 : 公募する。
- (3) 選考方法 : 委員会で審査のうえ決定し、速やかに本人に通知する。

## 5. 研修の実施要項

### (1) 研修入門

臨床研修を受けるにあたって最低限必要な知識を集中的に研修する。

(ア) 医師としての心得(医の倫理、生命倫理、医師法(守秘義務)、医療安全など)

病院職員としての心得(就業規則など)、プログラムの説明

薬剤科(治療薬の基礎、薬事法(無診投薬の禁止)など)

医事科（医療保険の種類、治療費の算定法、公費負担医療、レセプトなど）  
カルテ記載の実際（外来・入院カルテや入院サマリーの記載法、診断書の記載法など）

検査科における検査の実習（臨床検査の実際を体験する）  
放射線科における読影診断の基礎（撮影・透視、CT・MR 1など）

(イ) コンピューター入力によるオーダー法、文献検索法など。

(2) 研修計画の作成

研修期間は、原則として2年間とする。

1年次：基本研修科目の内科（6か月）、外科（3か月）および救急部門（3か月）を研修する。時間外救急外来は1年次、2年次を通して研修する。

2年次：小児科（1か月）、産婦人科（1か月）、精神科（1か月）  
地域医療（1か月）、地域保健（1か月）を必修科目として研修する。  
地域医療では、病診連携、医療分担等を診療所で身につける。地域保健では保健所、老人保健施設で健康管理を中心とした予防医療を研修する。  
選択科目（7か月）

選択科は研修医が将来の進路にあわせて幅広く選択することが望ましい。

以上のことを考慮して、研修医が委員会と協議の上1年次、2年次の研修計画を作成する。

(3) 研修計画の変更

原則として各年度途中の変更は認めない。進路変更などの理由により2年次の研修計画の変更が必要な場合には、研修医は委員会の承認を得て変更することができる。

(4) 指導体制

原則として研修医1名に対し、指導医1名をつける。疾患によっては専門医の指導を随時受けることができる。宿日直の指導体制は当直医および待機医師が指導にあたる。

(5) 時間外救急外来研修

平日：17時00分～翌8時30分。

土曜：13時00分～翌8時30分。日・祭日：8時30分～翌8時30分

時間外救急外来研修は平日の当直を週1回、休日の日・当直を月2回とする。

## 6. 研修の評価と終了書の交付

(1) 研修医の評価と終了書の交付

研修目標と評価チェックリストに基づき、研修医が自己評価を行うと共に、指導医が研修医の評価を行う。これらの資料に基づき委員会が最終評価を行う。

本プログラムの目標を達成したと認定されれば、院長が研修終了書を交付する。

(2) 指導医の評価

研修医からの指導医に対する評価及び研修医の達成度自己評価に基づき委員会が最終評価を行う。指導医として不適切と思われる者には委員会が再教育を行う。

(3) プログラムの評価

委員会はプログラムと実際に行われた研修内容を点検し、次年度に活かすべくプログラムの改善を行う。

## 7. 研修終了後の進路

希望すれば原則として志望する科の医師として採用される。そして専門医資格取得を目指す

こともできる。ただし、病院の医師充足状況によっては採用できないこともあるが、その場合は関連大学医局(名古屋大学、名古屋市立大学、愛知医科大学など)に推薦する。また大学院への進学の道もある。

## 8. 研修医の処遇

- (1) 身分 : 医師(常勤職員)
- (2) 給与 : 1年目報酬月額 約350,000円  
2年目報酬月額 約400,000円  
(その他、年2回賞与が支給される)
- (3) 勤務時間 : 午前8時30分～午後5時00分(土曜日は8時30分～13時00分)  
週平均40時間
- (4) 時間外勤務 : 受持ち患者の状況により時間外勤務がある。
- (5) 日当直 : 平日の当直は週1回。休日の日当直は月に2回。
- (6) 休暇 : 年末年始休暇、夏季休暇、年次休暇。
- (7) 宿舎 : あり
- (8) 社会保険(健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険) : 適用あり。
- (9) 職員健康診断 : 1年に2回。
- (10) 医師賠償責任保険 : 個人加入。
- (11) 学会・研究会 : 出席可(費用支援あり)。

## 9. 臨床研修病院、臨床研究病院及び床研究施設

- (1) 管理型臨床研修病院  
医療法人愛生会 総合上飯田第一病院 : 内科、外科、麻酔科、産婦人科、その他の診療科
- (2) 研修協力病院  
医療法人楠会 楠メンタルホスピタル : 精神科
- (3) 研修協力施設  
名古屋市立16保健所  
介護老人保健施設サン・くすのき(医療法人楠会)  
おがわ内科クリニック

## 10. 問い合わせ先

〒462-0802 名古屋市北区上飯田北町2丁目70番地  
医療法人愛生会 総合上飯田第一病院研修管理委員会  
TEL : 052-991-3111(庶務課)  
FAX : 052-981-6879

## 臨床研修 1 年目を終えて

臨床研修医 2 年 杉浦 大介

研修医として働き始めて早いこと一年が経ちました。働き始めた当初は左も右もわからず不安もありましたが、4 月のオリエンテーションから麻酔科研修、外科研修、内科ローテーション研修とこなしていくうちにできる事も増え、微力ながらも患者の治療に関与できる機会が増えてきました。これも各科の先生を始め、コメディカルの方々のご指導の御蔭と思っています。初心を忘れずに引き続き努力していきたいと思えます。

話は変わりますが、今年度から新たに二名の研修医が就職することとなり、当院始まって以来の研修医 4 人体制となります。また通信病院や名城病院からも研修医を一名ずつ受け入れていますので多い時で研修医が 6 人となります。新しい仲間が増える事は大変嬉しいことですし、研修医室もいっそう賑やかになりました。個人としての課題はまだまだ山のようにありますが、一年目の後輩にとって、良き先輩になれるように努力しなければと思えますし、研修医の増加が少しでも病院全体の活性化に繋がればとも思えます。今年度もご指導よろしくお願ひいたします。

臨床研修医 2 年 杉山 浩一

昨年研修医として就職してから早 1 年が過ぎました。最初の月はオリエンテーションで各科、各部署を回り、病院とはどういう仕組みで動いているのか、スタッフがどういった仕事をしてその中で医師はどういう役割を求められているのかということを中心に学びました。

5 月からは救急・麻酔科を 3 カ月、8 月から外科を 3 カ月、11 月からは内科を 5 カ月というローテーションで回ってまいりました。最初は職場に慣れるのに必死だった我々も段々と日々の診療・業務に携わる機会が増えていき、今振り返ってみますとまだまだ 1 年という短い期間ではありますがそれでも多くの方々に助けられ、様々な新しい経験に出会ってきたように思えます。皆様には本当に感謝の念に堪えません。

また新年度を迎えて新しい研修医も入ってきまして、今まさに上飯田の研修医の体制が作られようとしている時期だと考えております。彼らにはこの研修の良さを十分に生かしてほしいと思っておりますし、また私自身も後半の 1 年をより実りのあるものにするため更なる精進をと思っております。